

拠出金名:日本・ASEAN金融技術支援基金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額		10,471,773千円(注1)			
国際機関等名	東南アジア諸国連合 (英文名称・略称) Association of Southeast Asian Nations (ASEAN)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	財務省国際局地域協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	0	-	-	-	-
平成19年度	324,220	-	-	円建て	100
平成18年度	405,040	-	-	円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	ASEAN+3地域の金融安定化や金融協力の推進				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等(2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千円)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 324,220千円	
1位	日本	324,220	100.0	当該年度の支出 177,933千円	
2位				次年度への繰越 146,287千円	
3位				会計検査機関名	
4位				Grant Thornton Hendrawinata	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価(当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>アジア通貨危機・経済危機の再発防止を図ること、及びASEAN+3の枠組みにおける域内通貨金融協力の促進を目的として、平成13年度に同基金を創設した。</p> <p>これまで域内各国の資本フローのモニタリング強化、マクロ経済統計支援整備及び債券市場育成に向けた技術支援に加え、地域通貨単位に係る研究ならびに域内金融市場の自由化と資本市場の発展に向けた政策処置の域内協調に係る研究等について資金支援を実施している。同基金を通じた技術支援等により、ASEAN各国の債券市場の規模は着実に拡大するなど、主な受益国であるASEAN諸国から同基金の貢献について高い評価を得ている。このように同基金はその設立目的に対して効果的な活動が行われており、今後も重要な役割を担うものである。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>前年度の活動内容に係る評価に基づき、我が国(財務省)とASEAN事務局との協議により年間活動計画を策定しており、実施段階においても活動報告書の作成に加え、随時プログラムのモニタリング、受益国との意見交換、評価及び見直しを実施している。</p>					

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については、「日・ASEAN統合基金(JAIF)」の頁(P. 36)参照

(注1)平成20年度には、我が国から本基金に対し拠出は無いが、ASEANに対してはこのほか拠出あり。

(注2)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考)この機関には財務省の他、外務省、農林水産省及び経済産業省予算から拠出している。